

## 平成23年度森林湖沼環境税活用事業の実績について

### 1 税収額・支出額（決算額）

(1) 税収額 1,635,328千円

(2) 支出額 1,632,677千円


森林の保全整備事業 : 852,006千円

湖沼・河川の水質保全事業 : 780,671千円

### 2 森林の保全・整備

事業区分（事業名）	事業内容	計画	実績
① 森林環境保全のための適正な森林整備の推進		742,703千円	
森林機能緊急回復整備事業  間伐された森林(常陸大宮市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源かん養機能など森林の持つ公益的機能を回復させるため、間伐の実施に対し補助</li> <li>・間伐を効率的に実施するために必要な作業道の開設に対し補助</li> </ul>	1,640ha          56,300m	1,413ha *炭素吸収量 2,543炭素ト/年          88,875m
身近なみどり整備推進事業  整備された平地林(筑西市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にとって良好な生活環境ややすらぎの場をつくるため、平地・里山林の整備に対し補助</li> </ul>	300ha	262ha *炭素吸収量 183炭素ト/年
森林づくり推進体制整備事業  高性能林業機械による作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐等の作業を機械化により効率的に行うため、高性能林業機械のレンタル経費に対し補助</li> </ul>	延べ80か月分	延べ88か月分

<p>県産材流通・加工体制整備事業</p>  <p>整備されたラミナ製材工場(3.0ha) (宮の郷工業団地)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>未利用間伐材等を活用するラミナ製材工場の整備に対し補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラミナ製材工場 1箇所</li> </ul>	<p>1箇所</p>
<p>② いばらき木づかい運動の推進</p>		<p>93,584千円</p>	
<p>いばらき木づかいの家推進事業</p>  <p>補助を受けて建築中の木造住宅</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県産材の利用促進と需要拡大を図るため、木造住宅の建築に対し補助</li> </ul>	<p>350戸</p> <p>①通常分 300戸</p> <p>②震災枠 50戸 東日本大震災の被災者による住宅再建分</p>	<p>323戸 (応募403戸)</p> <p>①通常分 300戸 (応募380戸)</p> <p>②震災枠 23戸 (応募 23戸)</p>
<p>いばらき木づかい環境整備事業</p>  <p>幼稚園等における木製品導入</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県産材の利用促進と木の良さを普及啓発するため、公共施設の木造化・木質化や机など木製品の導入に対し補助</li> </ul>	<p>公共施設整備 8施設</p> <p>木製品導入 41施設</p>	<p>公共施設整備 8施設</p> <p>木製品導入 41施設</p>
<p>③ 県民協働による森林づくりの推進</p>		<p>15,719千円</p>	
<p>いばらきの森普及啓発事業</p>  <p>パンフレットの作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林湖沼環境税の意義や森林の働き・重要性等を啓発するため広報を実施</li> <li>地域の森林づくり活動などを促進するため、NPO団体などに対し補助</li> </ul>	<p>パンフレット作成</p> <p>「ひばり」 特集記事掲載</p> <p>20団体</p>	<p>パンフレット作成 30,000部</p> <p>「ひばり」 特集記事掲載 (平成23年9月)</p> <p>20団体</p>


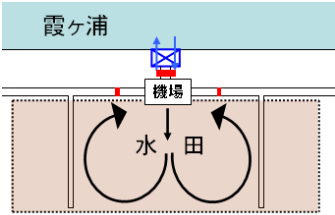
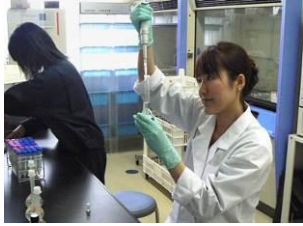


<p>森林環境教育推進事業</p>  <p>間伐の体験学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たちが自然にふれあい、体験学習ができる学校林等の整備に対し補助</li> <li>・森林の大切さや林業の役割を学ぶ機会として、小学生と保護者を対象に間伐の現場見学や木工体験等を実施</li> </ul>	<p>12校</p> <p>400人</p>	<p>12校 (参加者2,340人)</p> <p>415人 (応募者545人)</p>
--	---	------------------------	--


<p><b>* 年間炭素吸収量の増加分</b>      2,726炭素トン (間伐：2,543炭素トン, 平地林：183炭素トン)  → 平均的な家庭が年間に排出する炭素量の 1,870世帯分に相当  4年間を累計した炭素吸収量の増加分      24,017炭素トン → 約16,500世帯分に相当</p>
---

### 3 湖沼・河川の水質保全

事業区分 (事業名)	事業内容	計画	実績
① 生活排水などの汚濁負荷量の削減 (点源対策)		532, 525千円	
霞ヶ浦流域等高度処理型浄化槽補助事業  高度処理型浄化槽の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度処理型浄化槽の設置促進のため、設置者の負担額が通常型浄化槽と同等となるよう上乗せ補助</li> <li>単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進するため、撤去費用を補助</li> </ul>	設置補助 1, 246基  撤去補助 790基	設置補助 1, 336基  撤去補助 593基 *年間負荷削減量 COD:約 31ト 全窒素:約 5.2ト 全りん:約0.48ト
湖沼水質浄化下水道接続支援事業  農農業集落排水施設接続支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備済み地区での未接続者の解消を促進するため、市町村が行う接続補助に対して上乗せ補助</li> </ul>	下水道 1, 320件  農業集落排水施設 430件	下水道 751件  農業集落排水施設 125件 *年間負荷削減量 COD:約 15ト 全窒素:約 6.0ト 全りん:約0.61ト
霞ヶ浦・北浦点源負荷削減対策事業  工場への立入検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場・事業場の排水基準の遵守徹底等のため、水質保全相談指導員を配置し、工場・事業場の立入検査等を実施</li> </ul>	立入検査 544事業所	立入検査 481事業所 *年間負荷削減量 COD:約 6.9ト 全窒素:約 9.1ト 全りん:約0.88ト
農霞ヶ浦流域畜産環境負荷削減特別対策事業  堆肥化施設の設置補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産系負荷削減のため、家畜排せつ物の堆肥化施設等の設置に対して補助</li> </ul>	16箇所	12箇所 *年間負荷削減量 全窒素:約 20.8ト
農畜産バイオマス燃料化推進モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>家畜排せつ物の燃料化に関する実証試験</li> </ul>	堆肥分析及び堆肥製造農家実証	畜産農家の堆肥を分析



<p>畜産排水処理対策モデル事業</p>  <p>し尿処理施設での実証試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余剰液肥の対策として農地還元に替わる新たな処理（人のし尿処理施設、りん・窒素を除去する簡易施設等での処理）の実証試験</li> </ul>	<p>し尿処理施設での試験 2箇所</p> <p>簡易施設での試験 1箇所</p>	<p>し尿処理施設での試験 1箇所</p> <p>簡易施設での試験 1箇所</p>
<p>② 農地からの流出水への新たな対策（面源対策）</p>		<p>197,626千円</p>	
<p>農農業排水再生プロジェクト事業</p>  <p>循環かんがいの仕組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農水田からの負荷を削減するため排水を循環利用する施設の整備・維持管理に対して補助</li> <li>・谷津田の休耕田を浄化水田として利用するための取り組みに対して補助</li> </ul>	<p>新規整備 16箇所</p> <p>維持管理 31箇所</p> <p>維持管理 9箇所</p>	<p>新規整備 15箇所</p> <p>維持管理 30箇所</p> <p>維持管理 9箇所</p> <p>*年間負荷削減量 COD：約 15ト 全窒素：約 4.4ト 全りん：約0.50ト</p>
<p>霞ヶ浦水質環境改善事業</p>  <p>霞ヶ浦環境科学センターにおける研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霞ヶ浦・北浦の水質改善に向けた試験研究</li> </ul>	<p>水質改善に向けた試験研究（植物プランクトン増殖抑制対策に向けた研究等）</p>	<p>水質改善に向けた試験研究（植物プランクトン増殖抑制対策に向けた研究等）</p>
<p>水田活用直接浄化対策事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕田を活用して河川水中の窒素除去を行う耕作者に対して補助</li> </ul>	<p>30ヘクタール</p>	<p>0.3ヘクタール</p>
<p>③ 県民参加による水質保全活動の推進（県民意識の醸成）</p>		<p>50,520千円</p>	
<p>県民参加水質保全活動推進事業</p>  <p>市民団体による環境保全活動</p>  <p>湖上体験スクール</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動を促進するため、環境保全活動や環境学習に必要な活動機材の無料貸出し及び市民団体への活動費補助を実施</li> <li>・子どもの頃から水辺環境に親しみ水環境保全の重要性を学ぶため、湖上体験スクールを実施</li> </ul>	<p>補助団体 25団体</p> <p>参加者 8,600人</p>	<p>補助団体 20団体</p> <p>参加者 8,264人</p>

<b>農</b> 漁場環境・生態系保全活動支援事業	・漁業者等による植生（ヨシ）帯の保全活動に対して補助	1 地域協議会 5 活動組織	1 地域協議会 5 活動組織
			
植生（ヨシ）帯の保全活動			

**\* 年間負荷削減量増加分合計**      COD：約 67.9トﾝ   全窒素：約 45.5トﾝ   全りん：約 2.47トﾝ  
 《参考》4年間の負荷削減量増加分合計（H20～23） COD：約 219トﾝ   全窒素：約 127トﾝ   全りん：約8.53トﾝ